

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
ここに、2024年度(第100期)上期における
当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長

錦織弘信

第100期
中間ビジネスレポート

2024年4月1日～2024年9月30日

証券コード：6588

東芝テック株式会社

事業の概況

当中間連結会計期間の世界経済は、総じて緩やかな回復基調にある一方で、海外における金融引締めや物価上昇、地政学的リスクの高まり等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下で、当社グループは、中期経営計画(2024～2026年度)の基本方針「社会課題の解決に貢献する新たな価値を共創によって生み出し、グローバルトップのソリューションパートナーへ」の下で、持続的な成長の実現に向けて、基盤事業の収益力強化、新規事業の領域拡大、経営変革・人財強化・サステナビリティ強化等の施策に取り組み、グローバルトップのソリューションパートナーを目指して社会課題解決への貢献に努めてまいりました。

売上高については、POSシステム及び複合機の売上が増加したことや為替の影響などから、2,891億72百万円(前中間連結会計期間比10%増)となりました。損益については、複合機の利益が増加したことに加えて、米州を中心に海外市場向けPOSシステムの損益も改善したことなどから、営業利益は94億73百万円(前中間連結会計期間比60%増)、経常利益は85億12百万円(前中間連結会計期間比132%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益については、当社グループの複合機及びオートIDシステムの開発及び製造に関する事業を当社と(株)リコーとの合併会社であるエトリア(株)に、当社グループのインクジェットヘッド事業の全てを理想科学工業(株)の完全子会社である理想テクノロジーズ(株)に、それぞれ承継させたことに伴い、持分変動利益及び事業譲渡益を特別利益に計上したことなどから、266億8百万円(前中間連結会計期間比244億45百万円増)となりました。



通期の見通し

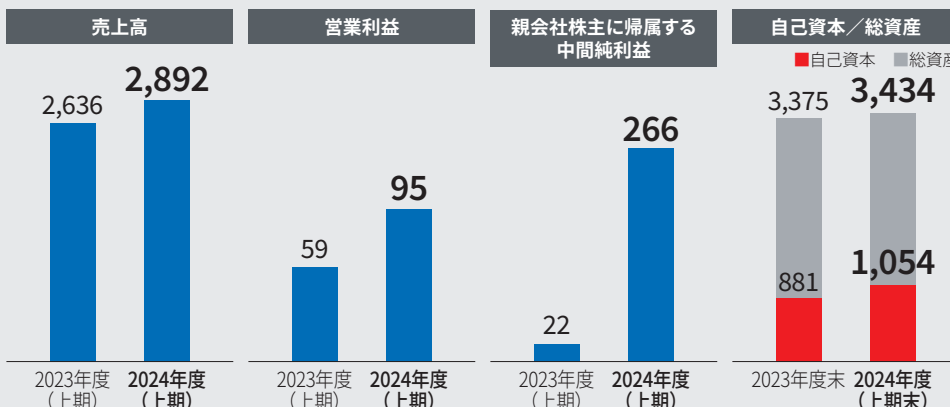
2025年3月期通期の連結業績予想値につきましては、2024年8月8日に発表しました予想に対し、売上高については、前回発表予想を据え置いております。なお、リテールソリューション事業において、主に国内市場向けの売上高の増加が見込まれることから上方修正いたしました。ワークプレイスソリューション事業において、為替影響等により下方修正しております。また、営業利益、経常利益については、前回発表予想を据え置いております。親会社株主に帰属する当期純利益については、持分変動利益の増加等により上方修正しております。

上記の業績予想や経営環境を総合的に勘案した結果、1株当たり期末配当予想は前回発表予想と同額の「25円」(前期実績と同額)とさせていただきます。中間配当と合わせた年間配当予想については1株当たり「45円」(前期実績と同額)とさせていただきます。

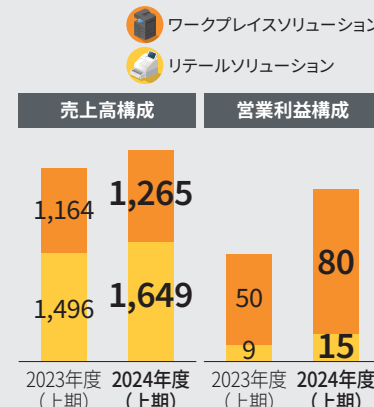
2024年度上期の連結業績

		2024年度 通期の予想
売上高	2,892億円	5,650億円
営業利益	95億円	180億円
親会社株主に帰属する 中間純利益	266億円	240億円

連結業績ハイライト (単位：億円)



セグメント別グラフ (単位：億円)



CALENDAR 2024

東芝テックカレンダー 2024

上期のトピックス 月の区分は原則としてトピックスの発表月です。

4月
APR

エコスグループ×「スマートレシート®」、
「1Point ポイントバックキャンペーン」を
実施

株式会社シェアリングエネルギーへの
出資のお知らせ

「スマートレシート®」により2023年度は
約5,600万枚の紙レシートを削減

無人決済店舗システム「TTG-SENSE」を
「北海道警察学校」に導入

5月
MAY

配送管理パッケージソフト
「Logi-Reco V2.0」を発売

6月
JUN

株式会社MUSEへの出資のお知らせ

「香りリテールメディア」サービスを活用した
ライオンコーヒーマーケティングの香り販促キャンペーン「飲まないカフェ」を実施

東芝テックとスコープ、香り体験による新しいマーケティング
「香りリテールメディア」サービスを提供開始

9月
SEP

高速ラベルプリンタ「BX410T-TS02-S」を発売

値引きラベル発行アプリケーション
「携帯ラベル発行システム」(Android版)を発売

電子レシートサービス「スマートレシート®」、
63社と「レシカルキャンペーン 2024 秋」を開催

東急ストアでセルフレジにおける省力化・防犯ソリューションの
実証実験を開始

7月



電子レシートサービス「スマートレシート®」 会員数200万人を突破!



東芝テックが開発、運営し、東芝データが運営を支援している電子レシートサービス「スマートレシート®」の会員数が2024年7月1日に200万人を突破しました。

「スマートレシート®」は、会計時に通常は紙で提供される購入商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターでデータとして管理、提供するサービスです。ユーザーはスマートフォンからいつでも購入履歴の確認・管理ができ、買い物における利便性の向上につながるとともに、加盟店舗では紙レシートの発行コストや環境負荷を低減することが可能です。現在全国17,000店舗以上で稼働し、その他自治体や企業、団体と連携することで輪を広げています。

これまで「スマートレシート®」により発行された電子レシートの枚数は延べ1億6,800万枚にのぼり、同枚数の紙レシートを削減しています。この枚数に紙レシート1枚の平均の長さ(16cm)を掛けると、紙レシート削減の全長は約26,880kmに及びます。近年「スマートレシート®」の加盟店と会員数が急拡大していることから、今後紙レシートの飛躍的な削減が見込まれます。



7月



株式会社リコーとのJV組成、 および理想科学工業株式会社へのIヘッド事業の承継を実施



ETRIA

リコーとJVを組成

iRISO

理想テクノロジーズに
インクジェットヘッド事業を承継

当社は2024年7月1日付で、株式会社リコーと当社の複合機等の開発・生産に関する事業を統合し、両社を株主とする複合機等の開発・生産を担う合弁会社「エトリア株式会社」の組成を完了しました。

また同日付で、当社および当社の完全子会社である株式会社テックプレジジョンのインクジェットヘッド事業を、それぞれ理想科学工業株式会社の完全子会社である理想テクノロジーズ株式会社へ承継しました。

当社は「グローバルトップのソリューションパートナー」になることを目指し、将来の成長に向けた事業ポートフォリオの検討を進め、事業転換と企業変革を実行し、社会課題解決への貢献に努めてまいります。

9月



ELERA® 売場移動型セルフレジシステム「ピピットセルフ」 200店舗導入を突破!



当社のカート型セルフレジ「ピピットカート」およびELERA®売場移動型セルフレジシステム「ピピットセルフ※」が2024年9月に全国累計で200店舗導入を突破しました。

「ピピットセルフ」は、消費者自身のスマートフォンや店舗が用意したタブレット端末付きのショッピングカートを利用して、商品をスキャンしながら買い物を楽しむことができるソリューションです。リアルタイムで合計金額や割引が表示され、専用会計機で簡単に支払いが完了します。消費者は混雑時でもスムーズに会計ができるとともに、スキャンした商品に関連して表示されたクーポンや広告を利用しながら快適なお買い物ができます。また、店舗のレジ係員の負担軽減や人手不足への対応にも貢献します。



2024年9月末現在、「ピピットカート」および「ピピットセルフ」はスーパーマーケットやドラッグストアなど全国累計200店舗以上で稼働し、月間利用回数は50万回を超えています。2024年1月には「ピピットセルフ」と親和性の高い、セキュリティゲートと会計機を連動したソリューション「ピピットチェック」を発売しました。

※「ピピットセルフ」は「ピピットカート」の後継機です。



東芝テックラベルプリンタ「BX400Series※1」が iF Design Award 2024※2を受賞



「BX400Series」は、通常ラベル、RFタグなどに印刷できる高機能なラベルプリンタです。また、当社デジタル複合機で培った技術を活用した新しいプラットフォーム「A-BRID」の実装により、クラウドやソリューションと連携し、機器管理やスマートフォンなどからの操作、お客様の仕様に合わせた印刷なども可能になりました。



大型カラーディスプレイを活かした見やすいステータス表示と選べるトップ画面、正面のホワイトパネルからラベル残量表示窓に視線を誘導する連続した形状が、機能性とともに入念性の高い現場にもフィットする、シンプルで個性的なデザインとなっています。商品性や機能性を適切に表現したことが評価され、受賞にいたりました。

※1 受賞製品は日本ではTECブランド、日本国外ではTOSHIBAブランドとなっています。

※2 「iF Design Award 2024」に関する詳細は、右記公式ホームページからご覧ください。 <https://ifdesign.com/en/winner-ranking/project/bx400-series/614018>



東芝テック、POSデータを起点に業種を横断した 課題解決を行う新会社「ジャイナミクス株式会社」を設立



当社は「バリューチェーンの全領域でデータの繋がった世界を目指す」というコンセプトのもと、2024年10月1日に「ジャイナミクス株式会社」を設立しました。

昨今、小売業界ではDXを活用した人手不足の解消や廃棄ロスの削減、最適な販売価格による収益改善などのニーズが高まっていますが、これらのニーズに対応するためにはPOSデータに加え、物流や生産など、さまざまなデータを収集・分析する必要があります。しかし、多くのデータを集めて解析するには、時間とコストがかかり、多くのIT技術者も必要です。

今回設立したジャイナミクスは、POSデータを中心に他のデータも統合したデータ利活用基盤を構築します。生成AIを活用することでデータ欠損や不足を補い、仮説検証しながらより質の高いデータを誰もが分析しやすい状態で提供し、経験だけに頼らない店舗のデータドリブンな意思決定を支援します。またプロモーション最適化ソリューションの提供や顧客のマーケティング活動も支援することで、小売業をはじめ、業種を拡大して現場の課題解決を目指してまいります。



目指す姿



会社概要

会社概況 (2024年9月30日現在)

商号	東芝テック株式会社 Toshiba Tec Corporation
設立	1950年2月21日
本店所在地	東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)
連結子会社	国内：7社／海外：54社
資本金	39,970百万円
従業員数	連結：15,876名／単独：3,137名
発行済株式総数	57,629,140株
自己株式数	4,676,158株
株主数	8,552名

役員状況 (2024年9月30日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	錦織 弘信 (社長執行役員)
取締役	内山 昌巳 (専務執行役員)
	湯沢 正志 (常務執行役員)
	大西 泰樹 (常務執行役員)
	武井 純一 (常務執行役員)
	谷 尚史 (常務執行役員)
	三原 隆正
	桑原 道夫 *1
	青木 美保 *1
	梅葉 芳弘 *1
	永濱 光弘 *1
監査役	山口 直大 [常勤]
	坂本 一郎 [常勤]
	大澤 加奈子 *2
	河 邦雄 *2

執行役員 (取締役兼務者を除く)

執行役員	小山 幸男
	千代 豊
	平 和樹
	下川 司郎
	Rance M.Poehler
	梶原 真理子
	鈴木 敏光
	石川 尚

- *1 東京証券取引所の定める独立社外取締役であります。
- *2 東京証券取引所の定める独立社外監査役であります。

株式事務についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当関係／3月31日 中間配当関係／9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

注記

- 記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。
- 事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。
- 業績予想については、2024年11月8日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

東芝テック株式会社

当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

サステナビリティ

SDGs、当社のマテリアリティ等に関する情報をご紹介します。また、統合報告書等も掲載しています。

<https://www.toshibatec.co.jp/>